

しずおか

活用の手引



本書の使い方・内容一覧

SNSノートしずおか

三つの方針

1. 「授業で使える」カード教材
2. 「トラブル事例を伝える」「危険を伝える」から「考えさせる」へ
3. 「日常のモラル」から「情報の活用」まで発達の段階を踏まえた構成

カード教材の使い方

- ・綴込みの教材を切り取って使います。
- ・3~5人のグループとなり、授業内容に沿って、自分が選んだカードをグループの全員に見えるように提示します。その際、掛け声を掛けるなど、一斉にカードを出すようにすると効果的です。
- ・そのカードを選んだ理由を共有します。
- ・カードは無くさないように、裏表紙に封筒を貼るなど、工夫して保管してください。

指導のポイント

実際のコミュニケーションでは、トラブルがつきものです。もし、コミュニケーションのトラブルが起きてしまったら、そのトラブルをそれ以上大きくしないためにどのように対応したらよいかを考える必要があります。

こうしたトラブルへの対応には、「一つの答え」があるわけではありません。クラスの中で、上手なネットコミュニケーションの在り方についての最適解を児童・生徒と一緒に検討してみてください。

内容一覧

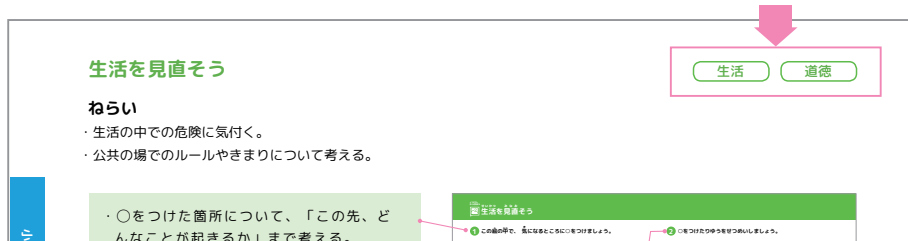
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
テーマ	1.ICTで豊かになる社会 2.タブレットを上手に活用しよう 3.生活を見直そう 4.使いすぎているかない① 5.使いすぎているかない② 6.友だちのまね 7.るすばんをしていたときのできごと 8.ゲームソフトのかしかり	1.ICTで豊かになる社会 2.タブレットを上手に活用しよう 3.自分と相手とのちがいがい 4.使いすぎているかない 5.これって悪口 6.ゲームの中の友達 7.写真を送ってと言われたら 8.マンガをSNSにアップすと	1.Society5.0 で実現する社会 2.タブレットを上手に活用しよう 3.自分と相手とのちがいがい 4.写真を公開する前に 5.使いすぎているかない 6.メディアの特性を考えよう 7.SNSからわかることは 8.夜おそくまでのグループトーク	1.Society5.0 で実現する社会 2.タブレットを上手に活用しよう 3.自分と相手との違い 4.写真を公開する前に 5.こんなつもりじゃなかったのに 6.情報を比較・分析してみよう 7.「信用」ってなんだろう？ 8.「見えないお金」と上手につきあおう
基本構成	・情報を活用しよう ・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・情報を活用しよう ・イラストから学ぼう ・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・情報を活用しよう ・カードで学ぼう ・ストーリーから学ぼう ・保護者のみなさまへ	・情報を活用しよう ・カードで学ぼう ・保護者のみなさまへ

よくある質問

Q. どの時間で実施すればよいですか？

生活、社会、技術・家庭、美術、道徳、総合的な学習の時間、特別活動（学級活動）などでの実施を推奨しています。学校の実情にあわせて、カリキュラム・マネジメントの視点での各教科等との連携を御検討ください。

また、本書中のそれぞれの解説ページの右上に実施を推奨する教科等を記載しておりますので御参照ください。



Q. どのくらいの回数を実施すればよいですか？

何回でも構いません。例えば、学期に1回程度の実施する場合には、ある学校では、7月（夏休み前）、9月（夏休み明け）、2月（振り返り）の計3回実施しています。子供たちの実情に合わせた実施を御検討ください。

Q. 短時間でも実施できますか？

朝の学級活動や15分程度のモジュール学習で活用している学校も多くあります。また、総合的な学習の時間では、インターネット上で外部の人と交流をしたり、情報を発信したりする場面が多くありますが、その際に「SNSノートしずおか」から必要な部分を取り出して指導することも可能です。

Q. 家庭との連携はどのように行えばよいですか？

小学校向けノートには「家庭から」という欄があり、授業で児童が記入したノートを持ち帰らせ、連絡帳のように双方向にやり取りをすることによって、学校と家庭とが連携した取組になります。

また、ある学校では、学校公開の機会を利用して、保護者参加型の授業に取り組んでいます。子供たちと一緒にカード教材を使った学習に保護者に参加してもらい、子供たちの意識の違いを認識したり、保護者の立場から子供たちへの思いを伝えたりするなどして、相互に学びを深め合う実践を行っています。



Q. 学校では、スマホ等の持ち込みを禁止しているので、情報モラルを教えなくてもよいですか？

これからの情報社会を生きていく子供たちには、情報機器の使い方だけでなく、情報モラル（情報を適切に活用するための基になる考え方や態度）を確実に身に付けさせていく必要があります。たとえ学校がスマホ等の持ち込みを許可していなくても、家庭等では情報機器に触れる機会が多くありますので、発達の段階を踏まえた指導が必要です。

Q. GIGAスクール構想には対応していますか？

対応しています。タブレット端末が導入された場合に想定されるトラブル、例えば、IDやパスワードをきちんと管理できるか、タブレットを破損しないで使えるかといった基礎的なことから、テキストコミュニケーションの増加によるトラブルや著作権のトラブル、そして長時間利用といった様々なトラブルに対応しています。

1 小学校低学年 モデル指導案

モデル指導案：つかいすぎているかな①

生活

道徳

体育(保健)

学活

授業のねらい

- ・時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 導入 ・児童のゲームやネットの利用状況について確認する。	
15分	2. イラストから学ぼう ・イラストを見ながら、状況について確認する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">ふきだしに入る言葉を入れましょう。</div> ・クラスで意見を共有させる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">どこを直したらよいでしょうか。</div> ・クラスで意見を共有する。 ・「自分の使い方はどうかな」と自らの生活を振り返らせる。	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出すとよい。
20分	3. カードで学ぼう ・3～5名のグループとなり、グループに1セット、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">平日、ゲームやインターネットを何時間使っていたら「使いすぎ」だと思いますか。</div> ・カードの中から1枚を選んで、グループの全員が見えるように提示する。 ・グループ内で理由を説明し合わせる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">どんなことに気が付きましたか。</div> ・気付いたことを記入させ、発表させる。	○カード教材
5分	4. まとめ ・今日の授業で学んだことを記入させる。 ・ノートを家庭に持ち帰らせ、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。	○カードをしまう封筒等

1 小学校低学年 モデル指導案

モデル指導案：タブレットを上手に活用しよう

生活

学活

授業のねらい

- ・タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
5分	1. 導入 ・ 現在、タブレットをどんなこと（どんな学習）に利用しているか、困ったことはないかについて共有する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">タブレットを上手に活用するためには、どんなことに気をつければよいかを考えてみよう。</div>	
20分	2. イラストから考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">この絵の中で、気になるところに○をつけましょう。</div> ・ ○をつけ、その理由を考えさせる。 ・ グループ、クラスで共有させる。 例えば、以下のような意見が予想される。 ・ パスワードなどを聞こうとしている ・ 落としてしまっている ・ 強くタップしている ・ 関係のない動画を見ている ・ 片手でつかんでいる ・ 机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそう ・ 勝手に写真を撮ろうとしている	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出すとよい。
15分	3. クラスのルールを考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">これらのリスクを踏まえて、公開する範囲を考えてみましょう。</div> ・ 先生が話をしているとき、持ち運ぶとき、パスワードの管理、机の上の整理、という4つの視点でルールを考えさせる。 ・ 特に、IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。	
5分	4. まとめ ・ クラスのルールを守り、大切にタブレットを使うとともに、目を近づけすぎずに、休けいを取りながら使うようにすることを伝える。	

ねらい

- ・ ICTで自分たちの暮らしがどのように変化するかについて考えることができる。
- ・ タブレット端末を使用した学びのイメージを膨らませ、そこで大切にすべきことを考えることができる。

・ 便利になっていけばよいことについて、家や学校といった場所の視点、スポーツ・勉強・遊びといった活動の視点、お年寄りや子どもといった人の視点など様々な視点から考えさせる。

・ 家庭での学びについては、端末を持ち帰ることができるかどうかなど、各自治体の実態に応じて内容を説明する。

ICTで豊かになる社会

ICT(パソコン・タブレットやスマホ)で豊かになる私たちの暮らし

学びはどうかかわるの？

(A) 学校の授業では

- ・ 自分の書いた絵や、作文を写真にとって保存する
- ・ QRコードを読み取って動画や写真を見る
- ・ 遠くにいる人にメッセージを送る
- ・ 考えたことをカードに書いてクラスの人みんなに送る
- ・ 友達のことを送ってもらって自分の考えと比較する
- ・ 自分の調べたいことを自分のペースで調べる

(B) 家庭では

- ・ 学校で勉強したことをもう一度インタビューで調べる
- ・ 学校に行けなくなったときに先生や友達とお話したり勉強できる
- ・ 自分が興味を持っていることを好きなときに調べる

考えてみよう

みなさんが大人になる頃、便利になっていいなと思うことを話し合ってみよう。

大切にしてほしいこと

- パソコンなどを扱う時間などは、ルールを決めてみる。
- 正しい姿勢で持ち運び、落とさない、落としたりしない。
- 自分や他人をきまづけるような使い方はしない。
- 興味を持ったことはどんどん調べて、調べたことを勉強や生活に活かす。

パソコン・タブレットなどを安全に使えるように、このノートで学んでいきましょう。

・ 端末は学校から貸与されたものであることを強調し、学びのために使うこと、そして大切に使うことの重要性を伝える。

タブレットを上手に活用しよう



P5のモデル指導案を参考にしてください。

ねらい

- ・ タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・ タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

○の左から

- ・ パスワードなどを聞こうとしているから
- ・ 落としてしまったから
- ・ 強くタップしているから
- ・ 関係のない動画を見ているから
- ・ 片手でつかんでいるから
- ・ 机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそうだから
- ・ 勝手に写真を撮ろうとしているから

タブレットを上手に活用しよう

1 この絵の中で、気になるところに○をつけよう。

2 ○をつけたらゆづをせつめいしましょう。

3 上手に使うためのルールを考えよう。

① 先生が話しているときは

② 持ち運ぶときは

③ 自分のパスワードは

④ つくえの上は

IDとパスワード

みなさんが使っているID(アイディー)とパスワードは、とても大切なものです。他の人に教えることきずき、きちんと管理しましょう。また、タブレットを使う時は、目を近づけずぎず、休けいをとらながら使うようにしましょう。

・ IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。また、使用の姿勢や長時間の使用による眼精疲労に注意させる。

生活を見直そう

生活

道徳

ねらい

- ・生活の中での危険に気付く。
- ・公共の場でのルールやきまりについて考える。

・○をつけた箇所について、「この先、どんなことが起きるか」まで考えさせる。

・歩きながらのスマホやゲームの使用だけでなく、公共の場でのルールやきまりにも広く目を向けさせる。

・「自分はどうか」と、自分の行動に当てはめて振り返らせる。

・ノートを家庭に持ち帰り、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。



つかいすぎでないかな①

生活

道徳

体育(保健)

学活

P4のモデル指導案を参考にしてください。

ねらい

- ・時間に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

・子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えた上で、「自分の使い方はどうか」と自らの生活に当てはめて振り返らせる。

・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思う時間を共有・比較することで、長い時間使用している子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。



・ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければいけないこと（勉強や生活）に影響が出ることに気付くようにする。

つかいすぎていないかな②

ねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・友達と比較することで、「自分も使いすぎているかもしれない」という自覚を促す。

・子供、保護者のそれぞれの気持ちを考えて上で、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活に当てはめて振り返らせる。

つかいすぎていないかな

ゆらたさんのおうちのようすです。

1 ふきだしに書くことばを入れましょう。

食事中は やめなさい。 いますぐ返信しないで！

2 どこを書いたらよいでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

3 つかいすぎだと書いたらカードをひとつえらんでみましょう。

1 かぞくとおそひに行くときにいつもスマホやゲームをもちっていく。 2 おこづかいは、ほとんどゲームにつかっている。 3 いつもネットやゲームのほなしばかりする。

2 どんなことにつまづきましたか。

3 学んだこと

A 家庭から A 学校から

・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思ふ行動を共有・比較することで、子供が自ら「自分は使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・ゲームやネットに多くの時間を使ってしまうと、やらなければいけないこと（勉強や生活）に影響が出ることに気付くようにする。

友だちのまね

・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。

・絵をまねした場合、まねされた人（花子さん）がどのような気持ちになるかについて考えさせる。

・勝手に人の作品をまねしてはいけないことについて、そうした決まり（法律等）があることに気付くよう促す。

友だちのまね

たかしさんは朝の新聞に絵をかいていました。クラスメイトの花子さんの絵がうまかったので、たかしさんもそれをまねてかいたら、みんなからほめられました。

うまいねえ。 まねしてはいいけど、まねをしたらどう思うかな？

たかしさんが、花子さんの絵をまねすることは、よいことなのでしょうか。

1 まねをしてもよい。 2 ちょっと変えればまねをしてもよい。 3 まねをしてはいけない。

るすばんをしていたときのできごと

・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。

・顔が見えない場合、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。

・電話番号や名前などを教えず、「分からない」、「家族に相談する」などと断る方法を伝え、必ず家族に報告するよう伝える。

るすばんをしていたときのできごと

たかしさんが、家でひとりですばんをしていると、電話が鳴りました。

はい、もしもし。

たかしさんですか。わたしは小学5年生の〇〇の女です。じつは、〇〇さんに会いたいです。電話で話したいんですけど、電話番号が分かりません。教えてもらえますか。

こんなとき、あなたならどうしますか。

1 電話番号を教えよう。 2 わからないとつたえる。 3 かぞくにそうだんするとつたえる。

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる（話し合いを行う。）。
- ・貸し借りに関するトラブルの経験について話し合わせる。
- ・自分で解決ができない場合があることについて考えさせ、その場合は大人に相談することが重要であることに気付くようにする。

ゲームソフトのかしかり

ある日、たかしさんは、すぐるさんにゲームソフトを貸してあげました。
 数日後、たかしさんはゲームソフトを返してほしいと言いましたが、すぐるさんから「もう少し貸してほしい」と言われてしまいました。
 何度もお願いをしても、返してくれる様子もなく、たかしさんはこままってしまいました。



たかしさんは、このあとどうしたらよいでしょうか。

- ① すぐるさんに「返してほしい」と何度も言う
- ② 別の友達に相談する
- ③ 家族に相談する
- ④ 先生に相談する
- ⑤ もう少し待つ

16

保護者のみなさまへ

家庭のルールについては、子供と保護者が話し合うだけでなく、保護者同士で家庭のルールを共有しておくことも重要なポイントです。例えば、保護者会等では、次のように活用することができます。

- ・それぞれのトラブルの事例について簡単に紹介する。
- ・学校（クラス）の実情を踏まえて、紹介することが望ましい。

- ・子供に起きやすいトラブルについて（子供と一緒に）グループ等で検討する。
- ・保護者がどのような不安を抱えているかについて、保護者同士で共有する。

- ・トラブルについて、①家庭でのルールづくり、②フィルタリングやアプリの設定、③ネットの特性の3つの視点から、どのように対応すればよいか、各ページを参照しながら考えてもらう。

ネット、ケータイ・スマホトラブル分類表

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

1 長時間利用	2 高額課金	3 不適切サイトの閲覧	4 出会い
5 著作権の侵害	6 不適切情報の発信	7 個人情報情報の投稿	8 悪口・いじり

① 子供と一緒に、起きやすいと思うトラブルにチェックを付けながら話し合ってみよう。
 ② アプリやフィルタリングの対策を考えてみましょう。
 大きく5つの対策が重要です。

- ① 家庭のルールを考えよう P20～21へ
- ② フィルタリングやアプリの設定 P22～23へ
- ③ インターネットにおけるコミュニケーションの特性 P24へ

19

・「使いすぎ」、「夜遅い時間」、「たくさん」という言葉は、人によって感覚がずれやすい表現であることを保護者に伝える。

・例えば、「スマホは夜10時まででしょ、取り上げるよ。」と言うよりも、「どうしたら夜10時までというルールを守ることができるかな。」と言う方が、子供たちの主体性・自律を育むことができることを保護者に伝える。

・保護者がずっと「制限」できる状況であり続けることは難しいため、いかに子供の主体性・自律を育むことができるかを保護者に考えてもらう。

P20下図

LINE株式会社「青少年のネット利用実態把握を目的とした調査」調査概要（2019年）

A 調査：家庭のルールを考えよう

小学生の調査には「使いすぎ」「夜遅い時間」「たくさん」という言葉は、人によって感覚がずれやすい表現であることを保護者に伝える。

具体的な考え事と目標とした「ルールの正姿」

ルールの決め方と達成の割合

ルールの決め方と達成の割合

ルールの決め方と達成の割合

ルールの決め方と達成の割合

・この調査については、あくまで参考として捉えるように伝え、チェックが多かったからといって、一概に「ネット依存」と断定することは難しいことを保護者に伝える。

P21チェックリスト（「DQ」調査）

「Diagnostic Questionnaire (Young, 1998)」の久里浜医療センターによる翻訳版を改編

・あらかじめルールを決めた上で、スクリーンタイム、ファミリーリンクなどのアプリを設定し、子供が正しい使い方をしているか保護者が確認できるようにする。

・インターネットの使いすぎについては、子供に「自分は使いすぎている」との自覚を促すことが行動改善のためのポイントであることを保護者に伝え、自覚を促す方法を考えてもらう。

P21右図（トランスセオレティカルモデル）

Prochaska JO, DiClemente CC, Norcross JC (1992) In search of how people change, app.lications to addictive behavior, American Psychologist 47, pp.1102-1114

酒井郷平・塩田真吾（2018）「行動改善を目指した情報モラル教育—ネット依存傾向の予防・改善—」静岡学術出版、pp.32-35

・フィルタリングについては、設定の有無を学級で共有し、設定方法などは機種によって異なる場合もあるので、販売店等での相談をすすめる。

・コミュニケーションに関するトラブルについては、「ルール」や「フィルタリング」だけでは防ぐことが難しいので、3つの視点でのトレーニングの必要性を保護者に伝える。

・3つの視点では、イヤな言葉などの「①感覚のズレ」や、感情が伝わりにくいなどの「②ネットの特性」、どのくらいの危険があるのかという「③リスクの見積り」を意識しながら、家庭でもトレーニングを行って欲しいと伝える。

A 調査：フィルタリングやアプリの設定

スマートフォン・タブレットの保護者向け機能

スクリーンタイム

ファミリーリンク

YouTube Kids

フィルタリングについて

フィルタリング

みんなのフィルタリング for (キャリア名、ブランド名)

A 調査：インターネットにおけるコミュニケーションの特性

8 目こじり

1 感覚のズレ

2 ネットの特性

3 リスクの見積りによるズレ

情報モラル = 自覚モラル × ネットの特性 × 感受力・判断力

2 小学校中学年 モデル指導案

モデル指導案：使いすぎていないかな

道徳

体育(保健)

総合

学活

授業のねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールについて考える。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
10分	1. イラストから学ぼう <ul style="list-style-type: none">・イラストを見ながら、状況について確認する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">あなたがたかしさんならどうしますか。</div> <ul style="list-style-type: none">・クラスで意見を共有させる。・自分のこれまでの経験を踏まえ、どんなトラブルが生じる可能性があるか、どのような行動が適切かを話し合わせる。	○実物投影機等で、イラストを大きく映し出す。
20分	2. カードで学ぼう <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">「この人、ネットやゲームを使いすぎだなあ」と思う順にカードを並べてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・5枚のカードを、使いすぎだと思う順に並べ、グループの全員が見えるように提示させる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">一番使いすぎだと感じるカードを選んだ理由、一番使いすぎではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明し合わせる。・クラスで意見を共有させ、理由を発表させる。	○カード教材
10分	3. 使いすぎないためには <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">ネットやゲームを使いすぎないためには、どのようなルールがあるとよいでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none">・家でどんなルールがあるとよいかを考えさせ、発表させる。	
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入させる。・ノートを家庭に持ち帰らせ、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。	○カードをしまう封筒等

ねらい

- ・ ICTで自分たちの暮らしがどのように変化するかについて考えることができる。
- ・ タブレット端末を使用した学びのイメージを膨らませ、そこで大切にすべきことを考えることができる。

・ 便利になっていけばよいことについて、家や学校といった場所の視点、スポーツ・勉強・遊びといった活動の視点、お年寄りや子どもといった人の視点など様々な視点から考えさせる。

・ 家庭での学びについては、端末を持ち帰ることができるかどうかなど、各自治体の実態に応じて内容を説明する。

ICTで豊かになる社会

ICT（パソコン・タブレットやスマホ等）で豊かになる私たちの暮らし

学びはどうか変わる？

A) 学校での授業では

- ・ 自分の書いた絵や、作文を写真にとって保存する
- ・ QRコードを読み取って動画や写真を見る
- ・ 家やにいる人にメッセージを送る
- ・ 考えたことをカードに書いてクラスの人みんなに送る
- ・ 友達のことを送ってもらって自分の考えと比較する
- ・ 自分の調べたいことを自分のペースで調べる

B) 家庭では

- ・ 学校で勉強したことをもう一度インターネットで調べる
- ・ 学校に行けなくなったときに先生や友達とお話したり勉強できる
- ・ 自分が興味を持っていることを好きなときに調べる

考えてみよう

みなさんが大人になる頃、便利になっていると思うことを話し合ってみよう。

大切にしたいこと

- パソコンなどを使う時間など、ルールを決めてもらう。
- お年寄りに持ち運び、置くたいたいや、落としたりしない
- 自分や他人をきま争つつけるような使い方はしない
- 興味を持ったことはどんどん調べて、調べたことを勉強や生活に活かす。

パソコン・タブレットなどを安心・安全に使えるように、このノートで学んでいきましょう。

・ 端末は学校から貸与されたものであることを強調し、学びのために使うこと、そして大切に使うことの重要性を伝える。

タブレットを上手に活用しよう

ねらい

- ・ タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- ・ タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

P5のモデル
指導案を参考にしてください。

○の左から

- ・ パスワードなどを聞こうとしているから
- ・ 落としてしまったから
- ・ 強くタップしているから
- ・ 関係のない動画を見ているから
- ・ 片手でつかんでいるから
- ・ 机の上が整理整頓されていないので、タブレットが落ちそうだから
- ・ 勝手に写真を撮ろうとしているから

タブレットを上手に活用しよう

1 この絵の中で、真になるところに○をつけましょう。

2 ○をつけたらゆづをせつめいしましょう。

3 上にするためのルールを考えましょう。

IDとパスワード

みなさんが使っているID（アイディー）とパスワードは、とても大切なものです。他の人に教えることをせず、きちんと管理しましょう。また、タブレットを使う時は、目を近づけず、傾けたりうつらうつらしないようにしましょう。

・ IDとは各自の家のようなもの、パスワードは家のカギのようなものであり、自分できちんと管理することの重要性を伝える。また、使用の姿勢や長時間の使用による眼精疲労に注意させる。

自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

国語

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わりにくいので、誤解されやすいことに気付く。

・ふきだしでは、たかしさんの怒った顔（3コマ目）、花子さんの不思議そうな顔（4コマ目）に注目しながら、理由を考えさせる。

・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くように促し、グループやクラスで「あまりうれしくない言葉」を共有する。

自分と相手とのちがい

教室での様子です。

1 ふきだしに入る言葉を入れ、感じたことを話し合います。

掃除をするのは当たり前だろ

ほめたつもりなのに

ネットのとくせい

文字だけで伝えると、そのときの「感情」が伝わらないので、相手をきずつけてしまうこともあります。

おもしろいね

自分と相手とのちがい

1 あなたが、クラスの友達から言われて「あまりうれしくない。」と感じる言葉の一つを選んでみましょう。

2 友達の名刺カードと見くらべて、どんなことに気がきましたか。

ネットのこと

ネットから

学校から

・「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演することで、私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

使いすぎていないかな

道徳

体育(保健)

総合

学活

ねらい

- ・主人公の行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」や「適切な行動」について考える。
- ・使いすぎないための家庭のルールを考える。



P11のモデル指導案を参考にしてください。

・友達から「もうちょっと遊ぼう」と呼び止められた場面を扱いながら、「自分の使い方はどうかな」と自らの生活を振り返らせる。

・適切な行動について考えさせる。

・カード教材を使って、グループやクラスで「使いすぎ」だと思う行動を共有・比較することで、自らの行動に当てはめて、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・発達の段階によっては、並べるのではなく、2枚のみ選んで話し合いを行わせる。

使いすぎていないかな

たかしさんの友達のおうちでの様子です。

1 あなたがたかしさんならどうしますか。

もうちょっと遊ぼうよ。

家に帰る時間が決まっていることを友達に説明する。

使いすぎないためには

1 ネットやゲームを使いすぎないためには、どのようなルールがあるといいでしょうか。

2 ルールが守れないのは、どんなときでしょうか。

使いすぎていないかな

1 この人、ネットやゲームを使いすぎだな」と思う顔にカードをならべてみましょう。

2 一番使いすぎだと感じるカードを選んで理由を書きましょう。

使いすぎではないと感じるカード

3 一番使いすぎではないと感じるカードを選んで理由を書きましょう。

・使いすぎないための家庭でのルールづくりや、「守れないときにはどうしたらよいか」を考えた上で、家庭で保護者と一緒に話し、感想を書いてもらう。

ねらい

相手の顔が見えないと、同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付く。

「おもしろいね」の文字だけで伝えた場合、感情が伝わりにくいことに気付くようにする。

- カードをA、Bに置いて、共有させる。
- それぞれのカードをA又はBに置いた理由を話し合わせる。
- 同じスタンプ（イラスト・絵文字）でも、人によって感じ方が違うことに気付かせ、自分が「すごくおもしろかった気持ち」を伝えようとして送ったスタンプが、相手に「いじわるな気持ち」として伝わってしまった場合、どのようなことが起きるかを考えさせる。

相手の顔が見えないと
同じスタンプや絵文字でも、人によって感じ方が違うこともあります。また、相手の顔が見えないと、つい、いじわるな言葉を使ってしまうことがあります。

P10での話し合いを振り返らせた上で、もし、相手にスタンプを送るときや相手からスタンプが送られてきたとき、どのようなことに気を付ければよいかを考えさせる。

ゲームの中の友達 / 写真を送ってと言われたら

- 顔が見えない場合は、自分が想像している人とは違う場合があることに気付くようにする。
- 相手が自分が想像している人とは違う場合、どのような危険性があるかについて考える。

- ストーリーのように、「写真を送って」と言われたとき、どのような迷いが生じるか考えさせる（「嫌われたくない」という気持ちから送ってしまう人がいることに留意させる。）。
- 自分の写真を送ってしまった場合、どんな危険性があるかについて考えさせる。

あかねさんは、ゲームで知り合った「しおり」さんと、顔を見ずにメッセージのやり取りをしています。
あるとき、「しおり」さんから、「あかねさんみたい写真撮ったから、わたしの写真を送るよ。」というメッセージと一緒に、「しおり」さんの写真が送られてきました。「しおり」さんは、多分おりのさやかなおねさんでした。その後、「しおり」さんから、「あかねさんの顔も見たいな。写真を送って。」と言われました。

このとき、あなたはどうしますか。
① 写真を送る ② 写真を送らない ③ 大人に相談する

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる(話し合いを行う。)
- ・あやしいメッセージが表示された場合には、クリックしたりせずに、家族などの大人に相談するようにさせる。また、パソコンの電源を切ったつもりでも、スリープ状態となり表示が継続される可能性があるため、注意させる。
- ・もしクリックしてしまい、電話をかけるように指示されたり、お金を払うように指示されたりしたとしても、決して電話をしたり、お金を払ったりしてはいけないことを伝える。

「ウイルスにかんせんしました」と表示が出たら

あなたは、無料でお金を稼ぐゲームをさがしています。
最近、友達のおかあさんから、無料でお金を稼ぐゲームがあることを教えてもらったので、自宅のパソコンをこっそり使ってさがしてあることにしました。すると、急に「ウイルスにかんせんしました」という表示が出てきました。



① この時、あなたはどのようにしますか。

① すぐにクリックする ② 大人に相談する ③ パソコンの電源を切る

④ こうした表示がでないようにするためには、どんなことに気をつけようか。

悪口を書かれたら

たかしさんは、遠くはなれた友達4人で、ときどきゲームをしていました。
ある時、たかしさんが友達のために、一緒にゲームをしていた友達から、メッセージで悪口を書かれてしまいました。



① この時、あなたはどのようにしますか。

① すぐに自分も悪口で言い返す ② 返信をせずにゲームを続ける

③ 家族に相談する ④ その他


- ・なぜその番号を選んだのかを全体で共有させる(話し合いを行う。)
- ・こうした経験があるかどうか、子供たちに経験を共有させる。
- ・悪口を言われた場合でも、言い返すと悪口が継続してしまうことや、ゲームでは、夢中になり、こうした悪口を言いやすくなることを伝える。
- ・「死ね」「殺す」など、脅された場合は、すぐに家族に相談するように伝える。

マンガをSNSにアップすると

- ・マンガの一部をネット上に勝手にアップロードすることは、著作権の侵害に当たり、いわゆる違法アップロードとなる。違法アップロードは、「10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方」の罰則が科せられる可能性があることを説明する(音楽や映画なども同様)。さらに、こうした違法にアップロードされた音楽、映像をその事実を知りながらダウンロードすることも著作権の侵害に当たることについて考えるようにする。

マンガをSNSにアップすると

ゆづりさんは、毎週発行されるマンガ雑誌を愛読し、いつも購入しています。今週発売されたマンガ雑誌には、お気に入りのマンガが載っていて、うれしくて、友達に知らせることにしました。
「友達、すっごくおもしろかった。」
このメッセージをマンガの一部と一緒にSNSにアップしたところ、友達からたくさんコメントがありました。



① このメッセージと写真には、どのような問題があるでしょうか。

② マンガ以外で、気を付けなければならないものには何があるでしょうか。

3 小学校高学年 モデル指導案

モデル指導案：自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

国語

授業のねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

授業の流れ (45分)

時間	学習活動	準備物等
20分	1. カードで学ぼう① <ul style="list-style-type: none">・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・カードの中から1枚を選ばせ、グループの全員が見えるように提示させる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">いやだなと感じた理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明し合わせる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">ほかの人に意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。</div> <ul style="list-style-type: none">・クラスで共有させ、気が付いたことを発表させる。・ネットの特性を読み上げ、「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて書いた考えを説明させる。	○カード教材
20分	2. カードで学ぼう② <ul style="list-style-type: none">・カードを裏返すように指示する。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・5枚のカードを、「いやだな」と感じる順に並べさせ、グループの全員が見えるように提示させる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">一番いやだと感じるカードを選んだ理由、一番いやではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・グループで理由を説明し合わせる。・クラスで共有させ、理由を発表させる。	○カード教材
5分	3. まとめ <ul style="list-style-type: none">・今日の授業で学んだことを記入させる。・ノートを家庭に持ち帰らせ、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。・家庭でカード教材と一緒に体験してみるように伝える。	○カードをしまう封筒等

ねらい

- AIやIoT、ロボットなどの発達で自分たちの暮らしがどのように変化するかについて考えることができる。
- タブレット端末を使用した学びのイメージを膨らませ、そこで大切にすべきことを考えることができる。

便利になっていけばよいことについて、家や学校といった場所の視点、スポーツ・勉強・遊びといった活用の視点、お年寄りや子どもといった人の視点など様々な視点から考えさせる。

家庭での学びについては、端末を持ち帰ることができるかどうかなど、各自治体の実態に応じて内容を説明する。

目標 Society5.0で実現する社会

Society5.0で私たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。

AI (Artificial Intelligence, 人工知能) やIoT (Internet of Things, モノのインターネット)、ロボット技術の発達によって、様々なサービスを創出し、暮らしの利便性を高めることが期待されています。人間に代わってロボットが様々な作業を行うことが期待されています。

自動運転

介護ロボット
高齢者介護

AI家電

スマート農業

ドローン物流

考えよう

みなさんが、20歳になる頃、社会はどのように変化していると思いますか？
便利になっている点と不便な点とを話し合ってみよう。

学びはどうか変わる？

A 学校の授業では

- 自分の考えや意見をわかりやすくまとめることができる。
- 自分の考えをクラスの仲間と共有したり、フィードバックを受け取ることができる。
- クラスメイト以外の人たちとのコミュニケーションができる。
- 自分のレベルにあった問題を解くことができる。
- 一生懸命つくった作品を保存して成長を振り返ることができる。

A 家庭では

- 学校の授業内容について学習、復習したり、さらに調べたりすることができる。
- 学校が臨時休校になったときに、学び続けることができる。

今後、みなさんにとってほしい力

- 情報を迅速選択し、判断する力
- 他者のことを想像しながら、発信する力
- 困難解決のために必要な活用している力

トラブルにあわす、上向き活用するために、このノートで学んでいきましょう。

端末は学校から貸与されたものであることを強調し、学びのために使うこと、そして大切に使うことの重要性を伝える。

タブレットを上手に活用しよう

ねらい

- タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守るようにすることができる。

次のようなことに気をつけさせる。

- テキストメッセージで悪口を書く
- 勝手に人の写真を撮る
- 著作権を侵害するような写真や動画を使う
- オンライン学習中に勝手に友達の写真を保存する
- オンライン学習中に指示と違うことを行っている
- 目を近づけて、長時間使用する
- 遅い時間まで使用する。

目標 タブレットを上手に活用しよう

上手に使うためのルールやマナーを考えよう

1 どんなトラブルが考えられるでしょうか

① 友達にテキストメッセージで悪口を伝えるとき

② 写真や動画を勝手に制作するとき

③ オンライン (通関) で学習をするとき

④ 家に持ち帰ったとき

2 どんなルールやマナーが必要でしょうか

① 学習にタブレットを使うとき

② オンライン (通関) で学習をするとき

③ 家に持ち帰って学習するとき

！ こんな時、どうする？

タブレットの電源が切れない

15分間隔で充電する

充電が完了するまで待つ

充電が完了しない場合は、先生に相談

タブレットの電源が切れない

充電が完了するまで待つ

充電が完了しない場合は、先生に相談

考えよう 「情報モラル」

IDとパスワード

みなさんが使用しているID (アイディー) とパスワードは、とても大切なものです。他人に教えることをせず、きちんと管理しましょう。もし、勝手に他者のIDとパスワードを盗用し、「不正アクセス禁止法」に違反することになります。

また、パスワードをつくるときは、自分の誕生日など、他者から推測されやすいものではなく、数字、英数の大文字や小文字、記号 (?) などを取り入れたものにするとよいでしょう。

パスワードの管理は今後も必要になってくることであり、できるだけ推測しにくいものをつくり、他人に伝えないようにすることの重要性を伝える。また、タブレットを使用する姿勢や長時間使用による眼精疲労に注意させる。

自分と相手とのちがい

学活

総合

道徳

国語



P16のモデル
指導案を参考にし
てください。

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有させる。

・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにさせる。

・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演し、考えさせる。
・私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

・ノートを家庭に持ち帰り、今日の授業で学んだことを保護者に伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。

写真を公開する前に

学活

総合

ねらい

- ・人によって「公開してもよいと思う写真」は違う場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることに気付く。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

・自分が「公開してもよいと思う写真」でも、公開することによって誰かを傷つけたり、トラブルに巻き込んだりしてしまう可能性について考えさせる。
・それぞれの写真のどこに問題があると考えたかを共有させ、発表させる。

・「ネットの特性」を読み、一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいことについて理解を促す。その上で、自分が発信する際に気を付けることを考えさせる。

・公開する前に、「どんな人が見るだろうか」を意識するように指導する。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

使いすぎていないかな

ねらい

- ・ 時間や行動に着目して、ゲームやネットの「使いすぎ」について考える。
- ・ 使いすぎないための家庭のルールを考える。

・ グループやクラスで「使いすぎ」だと思う時間や「使いすぎ」だと思う行動を共有させ、比較することで、自分の生活を見直し、子供が自ら「使いすぎているかもしれない」と気付くように促す。

・ 「使いすぎ」だと思う時間や行動が違う場合、相手に迷惑を掛ける可能性があることについて考えさせる。

・ これらの行為を「相手にされた場合」、「自分がしてしまった場合」のそれぞれについて考えさせる。

・ 使いすぎないための家庭でのルールづくりや、それを1週間試した上で、「守れるルール」や「守れないときにはどうしたらよいか」を考えさせる。

メディアの特性を考えよう

ねらい

- ・ SNSやテレビなど様々なメディアの特性を踏まえて、情報を収集することができる。
- ・ 情報の「速さ」と「正確さ」の関係に気付くことができる。

・ 自分の経験だけでなく、家族の経験などを踏まえて、情報収集の方法を考えさせる。

・ 今の状況を知りたいときにはテレビやSNSが有効であり、特に自分の身近な地域の情報を知りたいときにはSNSが有効であることを伝える。

・ 過去の情報を知りたいときには、本が有効であることを伝える。

・ テレビやSNSには情報の速さがあり、本には情報の速さはないが、比較的正確さがあることを伝える。

・ SNSの場合には、身近な情報が速く手に入る一方で、情報の正確さや信頼性には十分注意する必要があることを考えさせる。

SNSからわかることは

学活


総合

- たった1枚の写真やメッセージでも、コンビニの場所（隣にある家の場所）、塾の帰りの時間などの情報を多くの人を知ることができることに気付くようにする。一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど写真の公開におけるネットの特性について考えるようにする。

SNSからわかることは

最近、あかねさんの家のとなりにコンビニができたので、塾の帰りに行ってみました。『家の帰りにコンビニができた。塾の帰りに行けるから便利。』

このメッセージを、コンビニで買った飲み物の写真と一緒に、SNSにアップしたところ、友達からたくさんコメントがありました。



- このメッセージや写真から、分かることは何でしょうか。

- このようなことを見かけたら、あなたはどのようにアドバイスしますか。


15

夜おそくまでのグループトーク

- 意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - クラス全員の意見を共有した上で、相手のことを考えながら上手に自分の意見を言うためにはどうすればよいかを考えさせる。
 - 文字だけでなく、スタンプなどの上手な活用の仕方についても考えさせる。
- 意見を全体で共有させる（話し合いを行う。）。
 - 自分が情報を送るときだけでなく、受けるときについても、どのように気を付ければよいかを考えさせる。

夜おそくまでのグループトーク

これは、クラスの友達4人のグループトークです。あなたは、そろそろ寝ようと思っているので、グループトークを終わりにしたいと考えていますが、なかなか終わらせられません。



- こんなとき、あなたは、どのように返信しますか。

- クラスメイトの意見を聞いて、「上手だな」と思う返信や対応を書いてみましょう。

- 「楽しいコミュニケーション」をしていくために、これから気を付けることはどのようなことでしょうか。

18

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

4 中学校 モデル指導案

モデル指導案：写真を公開する前に

総合

美術

技術・家庭

特別活動

授業のねらい

- ・写真を公開した場合のリスク（トラブルにつながる可能性）を考えることができる。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。

授業の流れ (50分)

時間	学習活動	準備物等
15分	1. 写真のリスクを考えよう① <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">これらの写真を公開した場合のリスクを考えてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・5つのシーンで公開した場合のリスクについて考えさせる。 シーンA：仲のよい友達だけに送った場合 シーンB：仲のよい友達数人のグループLINEに送った場合 シーンC：特定の人だけしか見ることができないSNSに本名で公開した場合 シーンD：特定の人だけしか見ることができないSNSに匿名で公開した場合 シーンE：世界中の人が見ることができるSNSに匿名で公開した場合	○カード教材
20分	2. 写真やコメントなどのリスクを考えよう② <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">これらの写真やコメントを公開した場合のリスクを考えてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・特定の人だけしか見ることができないSNSに公開した場合のリスクを考えさせる。・グループ、クラスで共有させる。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">アカウントが同一人物だと特定された場合のリスクを考えてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・①～③のアカウントと④⑤のアカウントが同一人物であることが分かってしまった場合のリスクを考えさせる。（②のキーホルダーと④⑤のアカウントのアイコンが同じである）・グループ、クラスで共有させる。	○カード教材
10分	3. 写真の公開範囲を考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">これらのリスクを踏まえて、公開する範囲を考えてみましょう。</div> <ul style="list-style-type: none">・どのSNSに公開してもよいか、公開しないほうがよいかを考えさせる。・グループ、クラスで共有させる。	
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・写真を公開する際に、どのようなことに気を付ければよいかを考えさせる。	

4 中学校 モデル指導案

モデル指導案：信用ってなんだろう

学活

総合

授業のねらい

- ・混同しがちな「信用」と「信頼」の違いを考えることで、信用とは何かを考えることができる。
- ・情報技術の発展により、信用がより数値化、見える化されるからこそ、信用を積み重ねることの重要性に気づくことができる。

授業の流れ (50分)

時間	学習活動	準備物等
10分	1. 導入 <ul style="list-style-type: none">・身近な信用の事例と信頼の事例を考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">次に当てはまる言葉は「信頼」と「信用」のどちらでしょう？</div> <ol style="list-style-type: none">① このバスケットボールチームには「 」関係がある。② はじめて会ったけど、あの先生は「 」できそう。③ 何度もウソをついたら、友達から「 」されなくなった。④ あいつはずっと親友だから「 」できるので本を貸そう。	
20分	2. カードを使って考えよう <ul style="list-style-type: none">・信用と信頼のちがいを考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">もし、あなたが「高校の面接」をしたら、何を重視する？</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">将来、あなたが「お金を貸す仕事」をしたら、何を重視する？</div> <ol style="list-style-type: none">① 見た目がまじめそう、② 勉強や仕事ができる、③ 提出物をきちんと出す、④ 目標や夢を持っている、⑤ 話し方が上手 <ul style="list-style-type: none">・生徒会選挙は、来の行動を信じ期待することから、判断は精神的、主観的であり、④、さらには①や⑤が重視されやすい。・お金を貸す場合は、過去の実績や成果に基づき、判断は、物質的・客観的であり、③、さらには②が重視されやすい。	○カード教材
15分	3. 信頼と信用の違いを考えよう <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;">「信頼」と「信用」の違いはなんでしょうか？</div> <p>信頼・・・未来の行動を信じ期待する。判断は、精神的・主観的な面がある。 信用・・・過去の実績や成果に基づく。判断は、物質的・客観的な面がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・バスケットボールチーム、出会ったばかりの先生などは、未来の行動を信じ期待することから、判断は精神的、主観的であり、「信頼」が適切である。ウソをついた、ずっと親友の場合の判断は、過去の実績や成果に基づき、物質的・客観的になされるので、「信用」が適切である。	
5分	4. まとめ <ul style="list-style-type: none">・「信用」がないと、将来、車や家を買う際に、お金を借りることができないかもしれない。・個人の信用を数値化する取り組みも始まっており、今後も「信用」を高めることが重要となる。	

ねらい

- AIやIoT、ロボットなどの発達で自分たちの暮らしがどのように変化するかについて考えることができる。
- タブレット端末を使用した学びのイメージを膨らませ、そこで大切にすべきことを考えることができる。

便利になっていけばよいことについて、家や学校といった場所の視点、スポーツ・勉強・遊びといった活用の視点、お年寄りや子どもといった人の視点など様々な視点から考えさせる。

家庭での学びについては、端末を持ち帰ることができかどうかなど、各自治体の実態に応じて内容を説明する。

Unit 5 Society5.0で実現する社会

Society5.0で私たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。

AI (Artificial Intelligence: 人工知能) やIoT (Internet of Things:モノのインターネット)、ロボット技術の発達によって、様々なサービスが利用し、暮らしの様々な場面がオンラインで使われることができ、人間に代わってロボットが様々な作業を行ってくださることが期待されています。

自動運転

介護ロボット
遠隔医療

AI家電

スマート農業

ドローン物流

考えてみよう

みなさん、2週にわたる学習、授業はどのように活用したいとおもいますか？
疑問に思っていることや分からない点について質問を記入してください。

学びはどうか変わる？

A 学校の授業では

- 自分の考えや意見をわかりやすくまとめた。表現できる
- 自分の考えをクラスの仲間と共有したり、フィードバックを受け取ることができる
- クラスメイト以外の人たちのコミュニケーションができる
- 自分のレベルにあった問題を解くことができる
- 一生懸命作った作品を保存して成長を振り返ることができる

A 家庭では

- 学校の授業内容について学習、復習したり、さらに進んだりすることができる
- 学校が義務学校になったら、学びつづけることができる。

今後、みなさんに向けてほしい力

- 情報を整理し、整理する力
- 自分のことを表現する力
- 問題解決のために情報を活用する力

トラブルに遭遇し、上手に活用するために、このノートで学んでいきましょう。

端末は学校から貸与されたものであることを強調し、学びのために使うこと、そして大切に使うことの重要性を伝える。

タブレットを上手に活用しよう

ねらい

- タブレットを活用する際に想定される様々なトラブルについて想像し、気づくことができる。
- タブレットを上手に活用するためのルールを考え、それらを守ろうとすることができる。

次のようなことに気をつけさせる。

- テキストメッセージで悪口を書く
- 勝手に人の写真を撮る
- 著作権を侵害するような写真や動画を使う
- オンライン学習中に勝手に友達の写真を保存する
- オンライン学習中に指示と違うことを行っている
- 目を近づけて、長時間使用する
- 遅い時間まで使用する。

Unit 6 タブレットを上手に活用しよう

上手に使うためのルールやマナーを考えよう

1 どのようなトラブルが考えられるでしょうか

① 友達にテキストメッセージで悪口を伝えるとき

② 写真や動画を勝手に制作するとき

③ オンライン(遠隔)で学習するとき

④ 家に持ち帰ったとき

2 どんなルールやマナーが必要でしょうか

① 学習にタブレットを使うとき

② オンライン(遠隔)で学習するとき

③ 家に持ち帰って学習するとき

！ こんな時、どうする？

タブレットの電源が切れたら

15分程度待機する

電源が入るか？

YES → 電源ボタンを押し(5-7秒)する

電源が入るか？

YES → 先に印刷

NO → 解決

タブレットが充電がなくなった場合

充電がまだあるか？

YES → つながるか？

YES → 充電ケーブルを接続し(5-7秒)する

YES → つながるか？

YES → 先に印刷

NO → 解決

情報セキュリティを意識しよう

みなさんが使っているID (アイディー) とパスワードは、とても大切なものです。他人に教えることをせず、きちんと管理しましょう。もし、勝手に他の人のIDやパスワードを使うと、「不正アクセス禁止法」に違反することになります。

また、パスワードをつくる時は、自分の誕生日など、他人から推測しやすいものやID、パスワードを教わっている他の人にIDを教わってはいけません。IDやパスワードを教わっている他の人にIDを教わってはいけません。IDやパスワードの漏れや不正アクセスなどの被害にもつながります。

パスワードの管理は今後も必要になってくることであり、できるだけ推測しにくいものをつくり、他人に伝えないようにすることの重要性を伝える。また、タブレットを使用する姿勢や長時間使用による眼精疲労に注意させる。

自分と相手との違い

学活

総合

道徳

国語

ねらい

- ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
- ・文字だけで伝えると、感情が伝わらない場合があり、誤解されやすいことに気付く。



P16のモデル
指導案(小学校高
学年向け)も参考
にしてください。

・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有させる。

・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにさせる。

・「いやなことをしないようにしよう」という指導だけでは、「自分のいやなことを相手にしなければ大丈夫」（自分の「いやではないこと」ならしてもOK）となってしまう、コミュニケーショントラブルの要因になってしまうことに気付くようにする。

写真を公開する前に

総合

美術

技術・家庭

特別活動

ねらい

- ・写真を公開した場合のリスク（トラブルにつながる可能性）を考えることができる。
- ・一度公開した情報はすぐに拡散され、いろいろな人が見ることができ、消すことが難しいなど、写真の公開におけるネットの特性に気付く。



P21のモデル
指導案を参考に
してください。

・写真だけを公開した場合のリスクを考えさせる。

・写真にコメントが加わった場合のリスクを考えさせる。
・さらに、①～③のアカウントと④⑤のアカウントが同一人物であることが分かってしまった場合のリスクを考えさせる。（②のキーホルダーと④⑤のアカウントのアイコンが同じ）

・1枚の写真だけでリスクを判断するのではなく、複数の情報があわさった場合のリスクを考えさせるようにする。

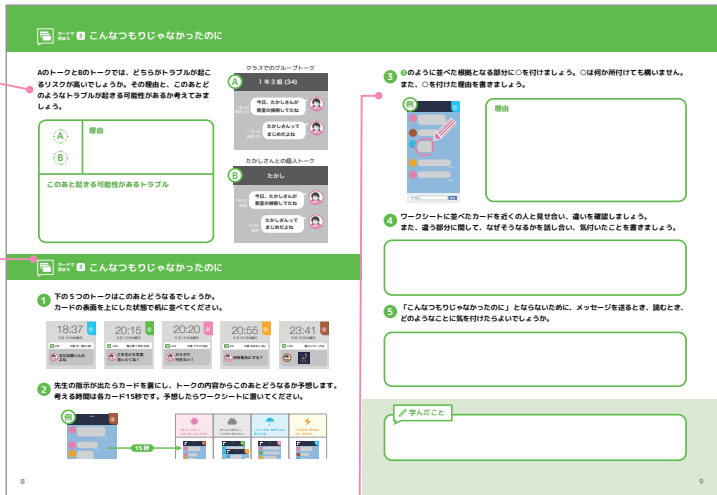
こんなつもりじゃなかったのに

ねらい

- ・コミュニケーションにおける危険（リスク）を予想することの重要性に気づき、自分と他者との危険（リスク）の予想の「違い」に気付く。
- ・ネットの特性を踏まえ、危険（リスク）を回避しながら、自分の考えや気持ちを上手に相手に伝える方法について考える。

・同じトーク内容でも、1対1の場合と、1対34（クラスでのやり取り）の場合では、人数が多いほど、多様な捉え方をする人が増えるので、自分の意図とは違う捉え方をされる可能性が高まることに気付くようにする(グループメッセージでは「まじめ」という言葉が異なる意味で伝わるリスクが高くなっている。)

・カードの裏面を見ないように机に並べ、グループ名（グループの人数）、グループトークでの最後のメッセージを読む。その上で、1枚ずつカードをめくり、15秒で「この先、グループの会話がどうなるか」を予想させる。



・判断の根拠を共有することで、危険（リスク）を予想する際の判断の視点に気付くようにする。例えば、グループのサイズ（人数）、画面キャプチャ（画面全体を静止画で保存すること）での写真転送、送信時間、メッセージの内容など、判断の視点を説明する。

こんなつもりじゃなかったのに 教材利用方法

①

表面
18:37
5月12日 木曜日

LINE 2組元・南小(8)

まだ足痛いんだよね

- ・グループ名(グループの人数)
- ・グループトークでの最後のメッセージ

裏面

今日、自転車で転んじゃったw

大丈夫？w

ケガしなかったの？

まだ足痛いんだよね

- ・表面のまま机に並べる。
- ・予想の根拠に○を付ける。

「こんなつもりじゃなかったのに」状況シート

 楽しい、うれしい、おもしろい、ほっとする。	 特になにも起きない。このままと変わらない。	 いらつする。気まずくなる。悲しくなる。	 けんかする。怒り出す。泣く。炎上する。
リスクはまったくない	リスクはほとんどない	少しリスクがある	大きなリスクがある

・裏面にしたら、15秒でこの先どうなるかを判断し、状況シート上に置く。

小学校低学年 小学校中学年 小学校高学年 中学校

情報を比較・分析してみよう

ねらい

- ・情報を比較・分析する際に必要な出典の示し方を身に付けることができる。
- ・自分の意見と引用を分けることの重要性や、その方法について考えることができる。

- ・例示された「成人年齢の引き下げ」以外のテーマで実施する場合には、②③に記入させる。
- ・賛成意見、反対意見ともに、見付けたページの①著者名、②タイトル、③WEBページのURL（または検索に用いたワード）を記入させる。
- ・調べた結果は、グループごとに共有させる。

- ・上記のサイトの意見を「引用」しながら自分の意見を書くようにする。

この単元では、様々な視点から見た情報の中から、自分にとって必要な情報を抽出し、それを活用して課題を解決したり、自分の意見や考えを表現したりすることができます。

1 情報を比較・分析するためのポイント

情報を比較・分析する際には、①「著者名」、②「タイトル」、③「URL」を必ず記入してください。また、④「検索ワード」も記入してください。これらは、後で調べた情報の中から、自分が必要とする情報を探し出す際に、非常に役立つ情報となります。

ネットの情報を上手に引用してみよう！

ネットの情報は、手軽に入手できる反面、信頼性の高い情報と、信頼性の低い情報が混在しています。そのため、引用する際には、必ず信頼性の高い情報を選び、その出典を正確に示すことが大切です。

考えよう「情報モデル」

また、引用は、引用する必要性があり、必要である場合にのみ行う必要があります。引用する際には、必ず信頼性の高い情報を選び、その出典を正確に示すことが大切です。

- ・自分が書いた文章について、自分の意見と引用が明確に区別されているかを確認する。

「信用」ってなんだろう？

ねらい

- ・混同しがちな「信用」と「信頼」の違いを考えることで、信用とは何かを考えることができる。
- ・情報技術の発展により、信用がより数値化、見える化されるからこそ、信用を積み重ねることの重要性に気づくことができる。

- ・バスケットボールチーム、出会ったばかりの先生などは、未来の行動を信じ期待することから、判断は精神的、主観的であり、「信頼」が適切である。
- ・ウソをついた、ずっと親友の場合の判断は、過去の実績や成果に基づき、物質的・客観的になされるので、「信用」が適切である。

- ・生徒会選挙は、来の行動を信じ期待することから、判断は精神的、主観的であり、④、さらには①や⑤が重視されやすい。
- ・お金を貸す場合は、過去の実績や成果に基づき、判断は、物質的・客観的であり、③、さらには②が重視されやすい。

この単元では、信用と信頼の違いについて考え、信用とは何かを考えることができます。

1 次に読むべき情報は「信用」と「信頼」のどちらでしょう？

- このバスケットボールチームは（信頼/信用) 関係がある。
- はじめて出会ったけど、あの人は信頼的に（信頼/信用) できます。
- 借財もつづついたら、誰からも（信頼/信用) されなくなった。
- あいづつと親友だから、（信頼/信用) できるのでお金を貸そう。

2 「信頼」と「信用」の違いってなんだろう？ (予想)

信頼
信用

3 もしあなたが「生徒会選挙」に候補するとしたら何を重視しますか？

- 見た目がよければいい
- 勉強が得意ならいい
- 親友が応援してくれるならいい
- 借財もつづつしているならいい
- 話し方が上手ならいい

4 将来、あなたは「お金を貸す仕事」に得意ですか。何を重視しますか？

- 見た目がよければいい
- 借財もつづつしている
- 勉強が得意ならいい
- 親友が応援してくれるならいい
- 話し方が上手ならいい

5 「信頼」と「信用」の違いってなんだろう？

信頼
信用

考えよう「情報モデル」

これからの高度情報社会では、「信用」はこれからの社会でますます重要になります。過去の実績や成果に基づいて判断し、信用を積み重ねることが大切です。

- ・信頼…未来の行動を信じ期待する、判断は、精神的・主観的な面がある
- ・信用…過去の実績や成果に基づき、判断は、物質的・客観的な面がある。
- ・信頼の判断も過去の信用がベースとなることが多く、過去の実績が重要になります。

ねらい

- ・キャッシュレス決済のメリット・デメリットを様々な立場から多面的に考えることができる。
- ・消費者として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことを考えることができる。

・子どもたちが日常的に使っている決済方法、例えば、交通系（SuicaやPASMOなど）やPayPay、LINE Payといったものを挙げさせる。

・現金を落としても返ってくる「治安のよさ」、偽札かどうかを気にしなくてもよい「日本円の信用の高さ」、よく知らないから「使うのが不安」などが挙げられる。なお、1位の韓国は、クレジットカードの利用率が非常に高い。

① 「キャッシュレス決済」（現金を使わない決済）には利点があるでしょうか？

② なぜ、世界と比べて日本はキャッシュレス決済が広がらないのでしょうか？下のグラフをもとに考えましょう。

国	比率 (%)
韓国	96.4
シンガポール	88.6
中国	82.3
カナダ	75.1
アメリカ	68.0
フランス	64.1
インド	54.2
日本	19.5

③ キャッシュレス決済のメリット・デメリットを「お店・事業者」と「消費者」の視点から考えてみましょう。

	お店・事業者	どちらにもあてはまる	消費者
メリット	○		
デメリット	×		

④ 「消費者」として、キャッシュレス決済を使う場合に気をつけなければならないことはなんだろうか？

・「◎ポイントがもらえる」というカードは、消費者だけのメリットかどうかを考えさせる。ポイントは、消費者だけのメリットではなく、ポイントを配ることで、次からもそのサービスや決済方法を使おうとする消費者を増やすことができるなど、お店や事業者のメリットでもあることに気づかせる。

ネット上に不適切な情報が掲示されたら

子供自身が気を付けていたとしてもトラブルに巻き込まれることがあります。

子供や保護者から相談を受けたときに適切な対応方法を事前に知っておくことは有効です。ここではネット上に不適切な情報が掲示された場合を想定して対処方法を見ていきましょう。

典型事例

中学2年生のA君は、自分が写っている写真が加工された状態でネット上に無断で公開されているのを発見しました。誰がネットに掲示したかは分かりません。困ったA君は母親に伝え、母親は驚いてすぐに学校に相談しました。

STEP1
対応方針決定

STEP2
手段検討

STEP3
削除要請

STEP1 対応方針決定

第1に、どのような対応をすべきかを決定する必要がありますが、インターネットの特性の一つとして、その拡散性の高さがあります。不適切な情報がネット上に拡散してしまうとそれをすべて消すことは困難となります。よって、まず対応すべきことは現在発生している被害の拡大を防ぐことです。そのためにはA君の写真をネット上から削除又は非公開にすることが有効です。

※P3531の対応フロー図の「①違法情報・権利侵害情報」のうち、「権利侵害情報」として対応を進めています。

削除依頼をする際の下準備

削除依頼をする際には主に以下の情報が必要になりますので、事前に準備し、保存しておくといよいでしょう。

- 載っている場所：WebならURL、アプリならどの画面か
- 載せられた日時：載せられた年月日時分秒
- 載っている内容：具体的に問題がある内容
 - ※載っている内容をキャプチャ画像等で保存してください。
- その掲載で誰が被害を受け、どう困っているのかの説明文章



自殺予告等の緊急時の対処法

自殺予告や自殺を呼びかける書き込みで、その内容から緊急度が高いと推察される情報が掲示されている場合は、一刻を争う対応（発生未然阻止）が必要です。その場合には警察に110番通報をしてください。

★1：P.35参照

<https://www.npa.go.jp/cybersafety/Homepage/homepage3.html>

必ずしも緊急の対応を要しない内容の書き込みを発見した場合には、最寄りの警察署又は都道府県警察サイバー犯罪相談窓口へ情報提供してください。

都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口等一覧 <https://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

STEP2 手段検討

ネット上から削除又は非公開するための削除依頼の連絡先は下記が考えられます。

- A. ネットに掲載した本人
- B. ネットサービス事業者
- C. その他専門機関

「A. ネットに掲載した本人」に対し削除依頼する場合は、サービス内にメッセージ機能等があれば直接連絡して削除請求をすることが可能で、迅速な解決が見込める可能性があります。しかし、強制力はないため、掲載者本人の判断に委ねられますし、コミュニケーションがうまくいかず相手を刺激してしまい、トラブルが悪化してしまうことも考えられます。

今回の事例では掲載者本人の特定が難しい事案ですので、Aが選択しにくいいため、B,Cを検討することとなります。



メッセージングサービスでのやりとり

LINE等特定の相手とのコミュニケーションを目的としたメッセージングサービス内で不適切な画像等がやり取りされるケースがあります。

このケースでは、ネットサービス事業者が個々の通信内容にアクセスしてしまうと法令上保障されている「通信の秘密」を侵害しうるため、ネットサービス事業者は通信内容にアクセスできません。この場合は不適切な画像等を送受信している人に直接削除を求めることとなります。

STEP3 削除措置要請

「B. ネットサービス事業者」への削除措置の要請は、当該サービスに設置している「お問合せ窓口」から行います。ネットサービス事業者は、その内容を独自の利用規約や運用基準に照らし合わせ削除の可否を判断します。しかし、サービス方針によって対応が異なるため、要求どおりにならない可能性もあります。

著作権侵害や名誉毀損等の権利侵害事案に関しては、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置の手続きがガイドライン化されています。

プロバイダ責任制限法に関する解説、ガイドライン、書式等 <http://www.isplaw.jp/>

今回の事例のようにA君のプライバシー権等に関係する権利侵害の事案ですので、プロバイダ責任制限法に基づく送信防止措置依頼を行うこともできます。

対応方法や連絡先が分からない場合は、下記の機関に相談してもよいでしょう。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

法務省インターネット人権相談受付窓口 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

「C. その他専門機関」に対して、専門機関からネットサービス事業者への削除措置の要請（以下「削除依頼」といいます）する場合は、専門機関が設置している通報フォームから行います。専門機関では、削除依頼が可能な情報の種類が細かく定められており、内容によっては対応できない場合もあります。削除依頼が可能な情報については、個人では手続きが難しい国外サイトへの削除依頼も対応してもらえることがあります。しかし、専門機関からの削除依頼を受け取っても、全ての情報が削除されるわけではありません。

なお、警察ではネット上に書き込まれた情報の削除依頼等の対応はしていません。

以下は主な専門機関となります。

セーフライン <https://www.safe-line.jp/>

セーフラインでは、児童の裸の動画画像やいじめの動画画像など深刻な被害をもたらす情報について通報を受け付け、ガイドライン（削除依頼ができる情報の種類が定められているもの）に該当するものについて削除依頼を実施しています。



発信者への法的措置★2

発信者への対応の一つとして、法的措置を求めることが考えられます。法的措置には、刑事事件として警察が介入するケース（犯罪捜査）と民事事件として発信者に法的請求（損害賠償請求等）するケースがあります。

民事事件のケースでは、発信者を特定する必要がありますが、ネットサービス事業者に発信者情報の開示を請求する場合には、プロバイダ責任制限法に基づくガイドラインも存在します。

プロバイダ責任制限法発信者情報開示関係ガイドライン

https://www.telesa.or.jp/ftp-content/consortium/provider/pdf/provider_hguideline_20180208.pdf

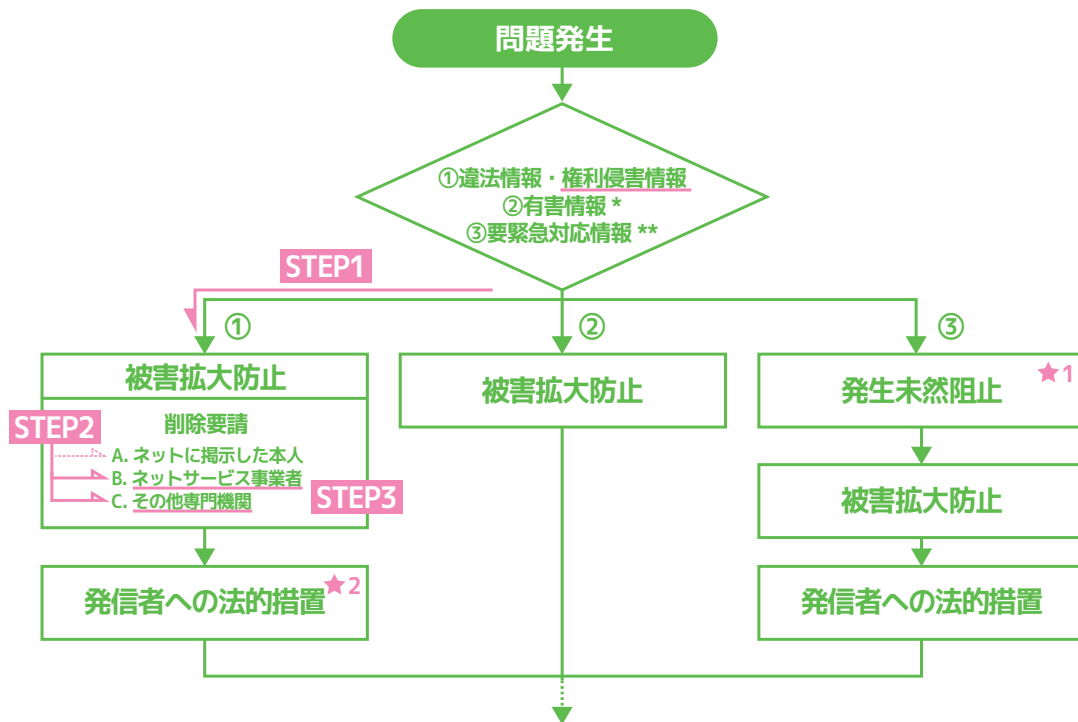
この開示請求は、第三者となる学校や教員からの申請が行えず、児童・生徒本人や保護者からの申請が必要になることや、ネットサービス事業者とインターネットサービスプロバイダの両方に照会する必要あるため、開示まで時間を要することがあります。開示条件等を理解した上で請求するどうかを判断しましょう。

もし、対応方法や連絡先が分からない場合は、以下の機関に相談することができます。

違法・有害情報相談センター（総務省委託） <http://www.ihaho.jp/>

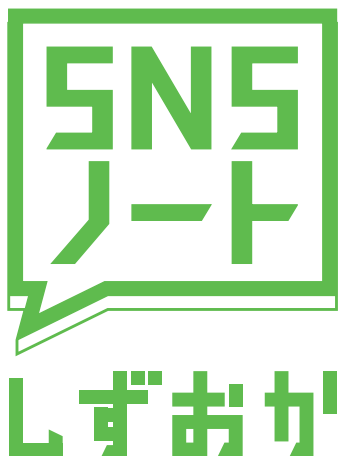
また、発信者情報の開示請求については専門的な知識が必要になるため、弁護士に相談することも検討しましょう。

参考：対応フロー図



*有害情報：遺体の画像等、法令には抵触しないが社会的通念上問題であると認識されうる情報

**要緊急対応情報：殺人・爆破・自殺予告等、発生未然防止のために対応に急を要する情報



活用の手引

SNSノートしずおか 活用の手引

制 作 静岡市教育委員会
一般財団法人LINEみらい財団
静岡大学教育学部准教授 塩田真吾
アラサキデザインスタジオ

LINE みらい財団

- ・本教材の著作権は、一般財団法人LINEみらい財団が保有しています。
- ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。これ以外での2次利用はおやめください。